

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~ 12:00	内科	一	一	一	しみず 清水	むろう 室生
	内科/リウマチ科	いななみ 稻波(宏)	一	一	いななみ 稻波(宏)	一
	循環器内科	さわ 佐和	むろう 室生/稻波(整)(隔週)	ひろた 廣田	むろう 室生	いななみ 稻波(整)
	消化器内科	さえき 佐伯(9:30~)	まえかわ 前川	さえき 佐伯(9:30~)	一	おおたに 大谷
	心臓弁膜症センター	おかだ 岡田	一	(手術日)	一	おかだ 岡田
	外科	一	あらい 荒井	きど 木戸	さいとう 齋藤	さいとう 齋藤(第3土曜)
	整形外科	担当医(第2・第4月曜)	一	一	担当医(10:30~)	一
午後 14:00 ~ 15:30	予約制	いななみ 稻波(宏)	むろう 室生	さえき 佐伯		
夜間 17:00 ~ 19:00	内科 I 診	まえかわ 前川	さえき 佐伯	いななみ 稻波(宏)	むろう 室生	
	II 診	しんくら 新倉	もちづき 望月	しんくら 新倉	あおたけ 大竹	

●診療科目 内科・循環器内科・消化器内科・リウマチ科・人工透析内科・腎臓内科・内視鏡内科・糖尿病内科・呼吸器内科  
外科・心臓血管外科・消化器外科・整形外科・リハビリテーション科

●受付時間 午前診8:30~11:45 午後診13:30~15:15(予約制) 夜間診16:30~18:45 ☆急患は随時受付いたします。

●病床数 108床(一般) ●面会時間 月~土15:00~20:00 日祝日11:00~20:00

## ご近所の開業医の先生のご紹介 No.3

### 西村医院

診療科目 内科、放射線科、胃腸科  
神戸市西区枝吉1丁目77-6  
電話: 078-929-0250  
院長 西村宏明



昭和54年5月当地に内科、放射線科を開設して36年になりました。当時からの患者さんも高齢になりましたが、診察する方も高齢になりました。しかし、体力的にはまだ自信がありますが、週一日、娘(神戸大学 呼吸器内科)に手伝いに来てもらっています。これからはもう少し増やす予定です。

みどり病院には、時間を問わず入院など大変お世話になっております。

個人の診療所では、まず初期の診療を行い、高度の治療あるいは検査が必要であれば総合病院などに紹介するのが、かかりつけ医の役割であります。この病診連携が十分機能すれば、地域の患者さんにとって不安は無くなります。しかし、公的な医療機関より小回りのきく、いつでも診てもらえて、スタッフ、医療機器が整った民間の医療機関であれば、もっと地域の患者さんは安心です。高齢化が進むと、医療だけでなく、介護、在宅医療、ターミナルケア、緩和医療など、これからの社会に対応した医療が必要になります。このようなことから、みどり病院には今後期待しております。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	/	○	○
17:00~19:00	○	○	○	/	○	/

### アクセス



### 公共交通機関をご利用の場合

- JR明石駅・山陽電車明石駅より → 神姫バス(東1)乗り場 西神中央駅、三木・社、押部谷方面ゆき(約15分)  
→ 変電所前下車 → 枝吉交差点を西へ(徒歩約5分)
- 新幹線・JR西明石駅 → タクシーを利用(約10分)
- 地下鉄西神中央駅より  
神姫バス⑦番乗り場明石駅ゆき(約25分)  
→ 変電所前下車 → 枝吉交差点を西へ(徒歩約5分)

### マイカーをご利用の場合

- 国道2号線和坂交差点から国道175号線を北上、枝吉交差点を西へ約150m
- 第2神明道路玉津ICで降り、国道175号線を南下、枝吉交差点を西へ約150m



医療法人社団 倫生会

# みどり病院

所在地:〒651-2133 神戸市西区枝吉1-16  
TEL (078) 928-1700(代) FAX (078) 928-1772

ホームページもご覧ください!!

<http://www.midori-hp.or.jp>

# みどりの風

2015年11月30日発行 No.23

医療法人社団 倫生会

みどり病院

●編集発行/みどり病院 広報委員会

## 心雜音を指摘されたら

### 心雜音を指摘された!?

検診を受けたり医療機関を受診した際に、「心臓に雜音がありますね」と言われることがあります。心臓に雜音がある?!何かとても嫌な響きですし、心配であります。一体『心雜音』とは何なのでしょう?

### 心雜音

心臓から発生する音には心音と心雜音があります。心臓は一日に約10万回拍動しています。その心臓には4つの部屋(2つの心房と2つの心室)と4つの弁があります(図1)。心臓の拍動に際して心房や心室は拡張と収縮を繰り返し、それに合わせて弁は開いたり閉じたりします。弁や血管を血液が通過する際に発生する音を『心雜音』と言います。心雜音は、ホースで水を撒くイメージです。指先でホースの先を閉めるとシャーッと水は勢いよく出ます。心雜音は、弁や血管などが狭くなったり逆流すると発生する高速の血流(乱流)がその原因です。実際、心雜音は心臓弁膜症の診断のきっかけになる重要な聴診所見です。



院長 むろう 室生 順

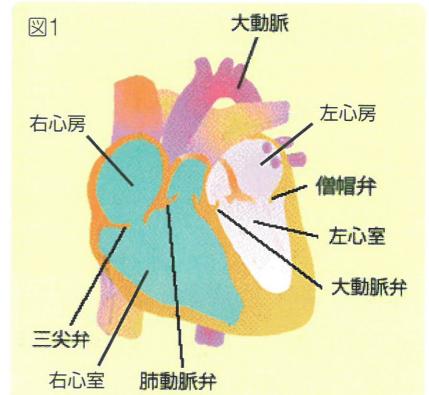


図1

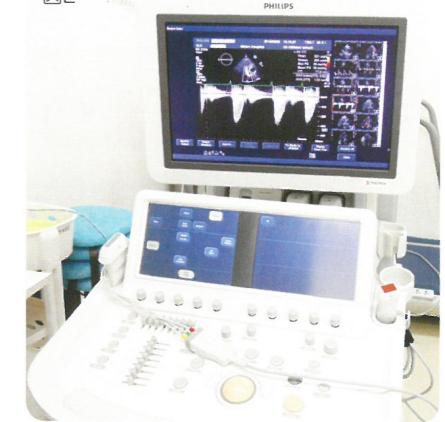


図2

### どうすればいいの?

心雜音を指摘されても心配は要りません。まずは専門医(循環器内科)を受診しましょう。そして、心雜音が本当にあるのかどうかをちゃんと聴診してもらいましょう。弁膜症が疑われる時は、医師の指示に従って心エコー検査等を受けましょう。心臓弁膜症はきちんと診断すれば怖い病気ではありません。

岡田行功医師(心臓血管外科)、室生卓医師(循環器内科)は、岡本クリニック(JR・阪急三宮駅の神戸交通センタービル6F)でも、火曜日9:30~13:00に、隔週交代で診療を行っています。  
岡本クリニック TEL.078-322-2488

みどり病院へのお問い合わせは

電話 078-928-1700(代)

## 介護老人保健施設みどりの丘 第2回秋祭り

去る10月18日（日）、神戸市垂水区にある介護老人保健施設みどりの丘で、第2回秋祭りを開催しました。

雲一つない好天に恵まれ、利用者様やご家族を中心に、1階玄関前のピロティで、心地よい風の通り中、いろいろな屋台が出て、お祭り気分を盛り上げました。食欲をそそる焼きそばやたこ焼きの香り、昔懐かしい綿菓子、子供たちに混じってヨーヨー釣りに興じる高齢者の姿もありました。

室内の機能回復訓練室では、輪投げや、射的、ボーリングも行いました。

久しぶりにご家族と軽食を囲んでの団らん、たくさんの笑顔に会えました。



介護老人保健施設  
みどりの丘  
神戸市垂水区小束台868-1130  
TEL.078-798-3600

## 電子カルテ導入から2カ月

みどり病院では、10月1日より電子カルテを導入いたしました。

「情報共有」「業務の効率化」「患者サービス向上」を目的として、円滑な運用開始に向けて取り組んでまいりました。

利点としては、従来紙に記載・保存していたカルテが電子化され、コンピューターによって集中管理されますので、病院内のどこにいても、過去の診療記録や画像が瞬時に参照可能となります。また、手書きによる転記ミスや誤読を防ぎ、医療の質、安全性を向上させることができます。

当初は予期せぬ障害や初めての操作が増えたために待ち時間が長くなる等、何かとご不便やご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。

今後、この新しく導入したシステムを有効に活用し、患者様にこれまで以上に良い医療を提供できるよう努めてまいります。



職員の操作研修風景

## ホームページをリニューアルしました!

10月からホームページが新しくなりました。毎週コラムを更新して新しい情報を掲載しています。「みどり病院の今」をご覧下さい。是非一度、アクセスしてみて下さい。



みどり病院 検索

ちょっと  
カラダに  
いい話

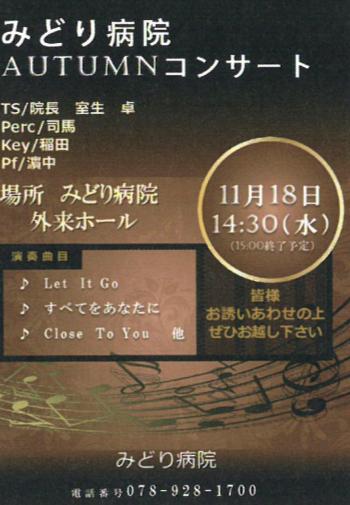
## ほっ！とりんごのシナモンティー

### 【材料】(1人分)

\*りんご 1/2個 \*はちみつ 小さじ1  
\*お湯 100ml \*シナモン 適量

- ①りんごをすりおろしてコップに入れる
- ②①に湯を注ぎ、はちみつを入れて混ぜる
- ③お好みでシナモンをかけて完成

1日1個のりんごは  
医者いらずといわれるほど栄養豊富。  
身体を温めるシナモンと一緒に  
お召し上がりください！



## 心臓弁膜症センター オープンカンファレンスのお知らせ

日 時 毎月第4木曜日18時～20時  
テ マ 心臓弁膜症の手術症例を中心に  
対 象 医療従事者 参加費 無料  
申込方法 FAXまたはメールにて  
FAX: 078-928-1718 (担当: 医局秘書)  
メール: ikyoku1@midori-hp.or.jp



## ご当地今昔物語 第5回 蛸壺や～

俳聖・松尾芭蕉は、明石まで来たことがあります（1688年）。「明石夜泊」とだけ前書を付けて、「蛸壺や はかなき夢を 夏の月」と詠んでいます。紀行文『笈の小文』の掉尾を飾る句です。

現在、明石市立天文科学館の裏手、すなわち、柿本神社の門前に、この句を刻んだ「蛸壺碑」があります。（初回の建立は1768年。その後、何度か建て替えや移動をしています。）

しかし、旅を終えて間もなく郷里・伊賀上野の門人に宛てた手紙によれば、実は芭蕉は明石には泊まらず、須磨まで引き返して泊まったというのが定説です。「明石夜泊」はフィクションだというのです。

芭蕉の旅の一つの目的は、名所旧跡（歌枕）を訪ねることでした。この手紙には、道中の覚書として「古塚 十三」とあり、「敦盛塚」、「人丸塚」など13基の名前だけが列挙されています。

ところで、柿本神社の西隣の（別当寺の）月照寺の由緒を辿ると、平安時代に、弘法大師が赤松山（現在の明石城跡）に楊柳寺を建立（812年）、住職の覚証（かくしょう）が、歌聖・柿本人麻呂の神靈がこの赤松山に留まる夢を見て、奥院に人麻呂廟を建て（887年）、寺名を月照寺と改めたといいます。しかし、江戸時代に入り、それまで明石川西岸にあった船上城（ふなげじょう）を廃して明石の城を築城するに当たり、塩屋、人丸山（もと赤松山）、和坂（かにがさか）の三候補地の中から、二代将軍・徳川秀忠が人丸山を選んだことから、それまで人丸山にあった人丸社および月照寺を、築城とともに、東に遷座させました（1622年）。ちなみに、人丸社と月照寺は、明治初年（1868年）からの神仏分離政策（神仏判然令）により、現在の柿本神社と月照寺とに分かれました。

では、芭蕉は、実際は、どこまで足をのばしたのでしょうか？現在、明石城本丸跡の坤櫓（ひつじさるやぐら）のすぐ東脇に残る「人丸塚」（と呼ばれる盛り土）は、遷座の後も「人丸宮」として城の鎮守を務めたとも、あるいは城内の庭園の築山でなかったかとも言われ、これが芭蕉の訪ねた「人丸塚」かどうか、定かでありません。いずれにせよ、明石城内にあった「人丸塚」を町人が自由に見物できたとは思えません。冒頭に掲げた句は、覚証が見た人麻呂の「夢」枕、そして「月」照寺を詠み込んだ句ではないか。とすれば、柿本神社境内の「播州明石浦柿本太夫祠堂碑」（1664年建立）、通称「亀の碑」までは来たと見て良いでしょう。（事務局 津田明彦）

